

資料1 現行カリキュラム「教育実践研究」のテーマ一覧

専攻・コース	研究課題名	協力学校等
人間形成	① 特活（健康教育） 小学校における心の健康教育のあり方	附属小学校
	② 抑うつ気分を訴える生徒を対象としたポジティブ感情とポジティブ・コーピングを主要操作因子とした健康・適応への導き	徳島北高等学校
	③ 徳島県民俗研究と教材化の試み	埋蔵文化財センター
学校改善	① 事務室長をリーダーとした事務のグループ化による学校運営システムの構築	事務職員研究会
授業開発	① 生活科（生活学習）の活動における子どもの行動観察やその分析と考察	附属小学校
生徒指導	① 道徳 道徳学習における評価について	附属小学校
臨床心理士養成	① 不登校生徒への訪問型支援に関する教育実践研究	総合教育センター 徳島市教育研究所
幼年発達支援	① 保育の質を問う一遊誘財が促す幼児期における体験の多様性と関連性一	附属幼稚園
	② 幼少連携の教育プログラム開発	附属幼稚園
	③ 特別支援を必要とする幼児の集団生活適応について	精華幼稚園
総合学習開発	① 地域素材を生かした総合的な学習の単元開発と表現・発信方法の研究	林崎小学校
	② 日本語支援が必要な児童のための教材開発と学校運営	石浜西小学校
特別支援教育	① 現場実習における実習先での行動の記録	附属特別支援学校
	② 現場実習での課題に視点をあてた日常生活指導	附属特別支援学校
	③ 生徒の実態把握のアセスメント（発達検査等）K-ABC,PEP-R,WISC-□,MEPA等	附属特別支援学校
	④ 生徒への日常生活指導（観察と記録）	附属特別支援学校
	⑤ 授業研究（生活単元学習、自立活動等）	附属特別支援学校
	⑥ 日常生活の指導に関する研究	附属特別支援学校
	⑦ 特別支援教育の推進について（障害児教育講座）	桑島小学校
	⑧ 通常学級に在籍する軽度発達障害児への支援のあり方について	新町小学校
	⑨ 知的障害及び肢体不自由のある児童に対する効果的な日常生活・学習指導	林崎小学校
	⑩ 特別支援学級（自閉症児への支援）	北島南小学校
言語系（国語）	① 国語科 国語科単元学習の発想を導入した授業の創造	附属小学校
	② 国語科 語彙指導（言語・文法等）	附属中学校
	③ 伝え合う力の育成をめざして	黒崎小学校
言語系（英語）	① 英語科 小学校英語活動の構想と展開	附属小学校
	② 英語科 目標・指導・評価の一体化を図った英語授業	附属中学校
	③ 高校生における効果的なライティング指導	鳴門高等学校
社会系	① 社会科 主体的に社会認識を形成する社会科学習の展開と構想	附属小学校
	② 社会科 GISを活用した社会科授業の開発研究	附属中学校
	③ 社会認識形成を支援する映像メディア教材の開発と試行	津田・木岐・寺内小
自然系（数学）	① 算数科 数学的な考え方を高める算数科授業の構想と展開	附属小学校
	② 数学 数学的活動の楽しさが実感できる教材開発と授業実践	附属中学校
自然系（理科）	① 理科 植物細胞の観察の工夫	附属中学校
芸術系（音楽）	① 音楽科 子どもの発達段階に応じた歌唱指導のあり方	附属小学校
	② 音楽によるコミュニケーションの成立をめざした音楽授業の工夫	附属小学校
芸術系（美術）	① 図工科 造形表現を豊かに育む授業の構想と展開	附属小学校
	② 美術科 美術鑑賞学習	附属中学校
生活・健康系（保健体育）	① 体育科 体育学習における情報機器の効果的活用について	附属小学校
	② アウトドア・スポーツ「水辺運動」	城北高等学校
	③ スポーツイベントの企画・運営	バスケットボール協会
生活・健康系（技術・工業・情報）	① 技術科 ロボット製作を通じたものづくり指導	附属中学校
	② 技術科 曲げ木を用いた作品製作指導	附属中学校
生活・健康系（家庭）	① 家庭科 技術力を伸ばす調理実習の工夫	附属中学校
	② 一人ひとりのよさや個性を生かした実践的・体験的な学習活動の展開	佐古小学校

※ 青の色掛け部は、専門職 GP「試行プロプログラム」

資料2 コアカリキュラム「教育実践フィールド研究」のイメージ

- 研究テーマを共有する4チームは、所属コースの専門性を活かして、異なる授業を構想し実践する。
- 30回の授業を、①チーム別、②4チーム合同、③学年全体、の3パターンで構成する。
- 各チームの指導には、院生の所属コースの教員1名以上（複数教員が望ましい）を配置する。

教育課題	課題に基づくテーマ	院生チーム	テーマに対するアプローチ例	教科・領域
領域1: 子どもの心と成長	他者を思いやる心を育てる (中学校)	人間形成	優しさとは何か	道徳
		国語	古典に描かれた人の生き方	教科(国語)
		社会	社会福祉の思想と現実	教科(地歴)
	子どもの社会化を支援する (小学校/幼稚園)	技術・工業・情報	情報の受け取りと発信のためのリタラシー	教科(技術・情報)
		臨床心理士養成	大人になるとは	道徳
		幼年発達支援	自分にできること、できないこと	教科(生活)
領域2: 社会と学校の関わり	地域文化の継承と創造 (小学校/幼稚園)	現代教育課題総合	ルールって何だろう	総合
		家庭	家族の支え、家族の形	教科(家庭)
		人間形成	おじいさん、おばあさんの知恵	教科(生活)
	キャリア形成を支援する (中学校)	臨床心理士養成	大切にしたいモノ、心、ひと	特活
		音楽	郷土の伝わるしらべ、リズム	教科(音楽)
		英語	私たちの暮らしと外国の暮らしを比べて	総合、教科(小英)
領域3: 科学と教材	科学的な思考力を育成する (高校)	人間形成	職業の分化と社会参画	教科(社会)
		臨床心理士養成	生き甲斐、働くよこび	総合
		数学	なぜ数学は生きる上で必要なのか	数学、特活
	読解力を育てる教材づくり (小学校)	技術・工業・情報	物づくりの楽しみと苦しみ	教科(技術・工業)
		社会	リーガルマインドとは何か	教科(公民)
		数学	三角関数と社会生活とのつながり	教科(数学)
領域4: 地域の自然と文化	徳島の自然とともに生きる (小学校/特別支援学校)	理科	力学と社会生活とのつながり	教科(理科)
		家庭	消費生活のメカニズム	教科(家庭)
		現代教育課題総合	記号とコミュニケーション	総合
	歩き遍路の意味を追求する (中学校)	国語	文学のロジカルでクリティカルな読み	教科(国語)
		数学、理科	暗号(数字・文字・形の意味)を解読しよう	教科(数学・理科)
		美術	作者のメッセージ	教科(図工)
領域5: 身体・感性の表現	パフォーマンスを通じて表現力を養う (中学校)	特別支援教育	自然を楽しむ、土の香り・水の香り	総合
		現代教育課題総合	吉野川の水質とその変化	総合
		理科	地形の不思議、地球のちから・水のちから	教科(理科)
	美に触れる、美を語る (小学校/幼稚園)	体育	地形を活かした野外活動	特活
		人間形成	お接待の心、いたわりの心	道徳
		臨床心理士養成	歩くことで、自分を見つめる	特活
領域5: 身体・感性の表現	パフォーマンスを通じて表現力を養う (中学校)	英語	遍路文化を伝える英語パンフをつくろう	教科(英語)
		社会	人はなぜ巡礼をするのか	教科(社会)
		諸教科	絵本と演劇を通じたコミュニケーション	総合
	美に触れる、美を語る (小学校/幼稚園)	英語	正しい発音、分かる発音、伝わる発音	教科(英語)
		音楽	自然な発声、美しい発声、感動を呼ぶ発声	教科(音楽)
		体育	武道とダンスと身体操作	教科(保体)
美に触れる、美を語る (小学校/幼稚園)	幼年発達支援	清潔な生活、整理整頓	道徳、教科(生活)	
	国語	文字を美しく、手で書くこと	教科(国語)	
	社会	地図の表現、地図の美しさ、地図の力	教科(社会)	
美に触れる、美を語る (小学校/幼稚園)	美術	日用品に隠れた造形美	教科(図工)	

資料③ー1 「教育実践フィールド研究」モデルシラバス

0 オリエンテーション (4月)

1 今日の学校教育の課題とそれをめぐる論点・争点 (5月～7月, 5回分)

- (1) 人間教育 or 特別支援教育 or 教科教育の視点からみた教育課題【独立】…専攻・コース別
- (2) 教育課題に対する〇〇科のアプローチ【5(1) or (2)と合同】…専攻・コース別
- (3) 教育課題に対する様々なアプローチ【5(5)と合同】…全専攻・コース
- (4) 今年度の教育課題・テーマ群の説明 →希望テーマ提出…全専攻・コース
- (5) 教育課題に対する学校・施設・教師の取組例【7(3)と合同】…全専攻・コース

2 教育課題についての共通理解づくり (10月～11月, 4回分)

- (1) 当該の課題・テーマに取り組む視点と方法…4チーム合同
- (2) 当該の課題・テーマに係わる学校現場の実態把握…4チーム合同
- (3) 当該の課題・テーマに係わる学校現場の実態把握…4チーム合同
- (4) 学校訪問の振り返り, チーム間での問題意識の共有化と個別化…4チーム合同

3 教科・領域の特性を活かした教育課題へのアプローチ (12月～2月, 6回分)

- (1) 〇〇科教育の目標論にもとづく課題・テーマの研究…個別チーム別
- (2) 〇〇科教育の指導論にもとづく課題・テーマの研究…個別チーム別
- (3) 〇〇学の成果と方法にもとづく課題・テーマの研究…個別チーム別
- (4) 〇〇学の成果と方法にもとづく課題・テーマの研究…個別チーム別
- (5) 課題解決・テーマ追求の方向性の討議…個別チーム別
- (6) 各教科・領域別の課題解決の視点と方法の発表, 意見交換…4チーム合同

4 子ども・教師の視点からの教育課題へのアプローチ (2月～3月, 3回分)

- (1) 当該の課題・テーマに係わる〇〇科教育の授業観察…4チーム合同
- (2) 当該の課題・テーマに係わる〇〇科教育の授業観察…4チーム合同
- (3) 課題・テーマをめぐっての現職教員との意見交換…4チーム合同

5 教育課題の解決に向けた教材研究・授業開発 (4月～5月, 6回分)

- (1) 〇〇科教育の教材研究, 授業計画の方法論…個別チーム別★
- (2) 〇〇科教育の教材研究, 授業計画, 教材づくりの実習…個別チーム別★
- (3) 〇〇科教育の教材研究, 授業計画, 教材づくりの実習…個別チーム別
- (4) 課題解決の達成度の評価方法…個別チーム別
- (5) 授業計画の発表, 意見交換…4チーム合同★
- (6) 授業計画にもとづく現職教員との意見交換, 事前打ち合わせ…4チーム合同

6 教育課題の解決につながる授業実践 (5～6月, 3回分)

- (1) 協力校での授業実践・反省…個別チーム別
- (2) 協力校での授業実践・反省…個別チーム別
- (3) 協力校での授業実践・反省…個別チーム別

7 授業実践の成果と課題 (9月～10月, 3回分)

- (1) 授業実践の振り返り, 成果と課題の確認…4チーム合同
- (2) 授業実践の成果発表の準備…4チーム合同
- (3) 授業実践の成果発表ー「教育実践フィールド研究」フォーラムー…全チーム合同★

★の回は, M1 の院生と合同で実施する

資料③-2 「教育実践フィールド研究」(社会科)の場合

0 オリエンテーション(4月)

1 今日の学校教育の課題とそれをめぐる論点・争点(5月~7月, 5回分)

- (1) 教科教育, とくに社会科教育の視点からみた教育課題
- (2) 教科教育, とくに社会科教育の視点からみた教育課題
- (3) 前年度「教育実践研究」の成果の発表, その意義の解説
- (4) 前年度「教育実践研究」の成果の発表, その意義の解説
- (5) 今年度の教育課題・テーマ群の説明 →希望テーマ提出

2 教育課題についての共通理解づくり(10月~11月, 4回分)

- (1) 当該の課題・テーマに取り組む視点と方法
- (2) 当該の課題・テーマに係わる学校現場の実態把握
- (3) 当該の課題・テーマに係わる学校現場の実態把握
- (4) 学校訪問の振り返り, チーム間での問題意識の共有化と個別化

3 各教科・領域の特性を活かした教育課題へのアプローチ(12月~2月, 6回分)

- (1) 社会科・地理歴史科・公民科教育の目標論に基づく課題・テーマの研究
- (2) 社会科・地理歴史科・公民科教育の指導論に基づく課題・テーマの研究
- (3) 歴史学・地理学の成果と方法にもとづく課題・テーマの研究
- (4) 法学・経済学・社会学・倫理学の成果と方法に基づく課題・テーマの研究
- (5) 課題解決・テーマ追求の方向性の討議
- (6) 各教科・領域別の課題解決の視点と方法の発表, 意見交換

4 子ども・教師の視点からの教育課題へのアプローチ(2月~3月, 3回分)

- (1) 当該の課題・テーマに係わる社会科・地理歴史科・公民科教育の授業観察
- (2) 当該の課題・テーマに係わる社会科・地理歴史科・公民科教育の授業観察
- (3) 課題・テーマをめぐっての現職教員との意見交換

5 教育課題の解決に向けた教材研究・授業開発(4月~5月, 6回分)

- (1) 社会科・地理歴史科・公民科教育の教材研究, 授業計画の方法論 ★
- (2) 社会科・地理歴史科・公民科教育の教材研究, 授業計画, 教材づくりの実習 ★
- (3) 社会科・地理歴史科・公民科教育の教材研究, 授業計画, 教材づくりの実習
- (4) 課題解決の達成度の評価方法
- (5) 授業計画の発表, 意見交換 ★
- (6) 授業計画にもとづく現職教員との意見交換, 事前打ち合わせ

6 教育課題の解決につながる授業実践(5~6月, 3回分)

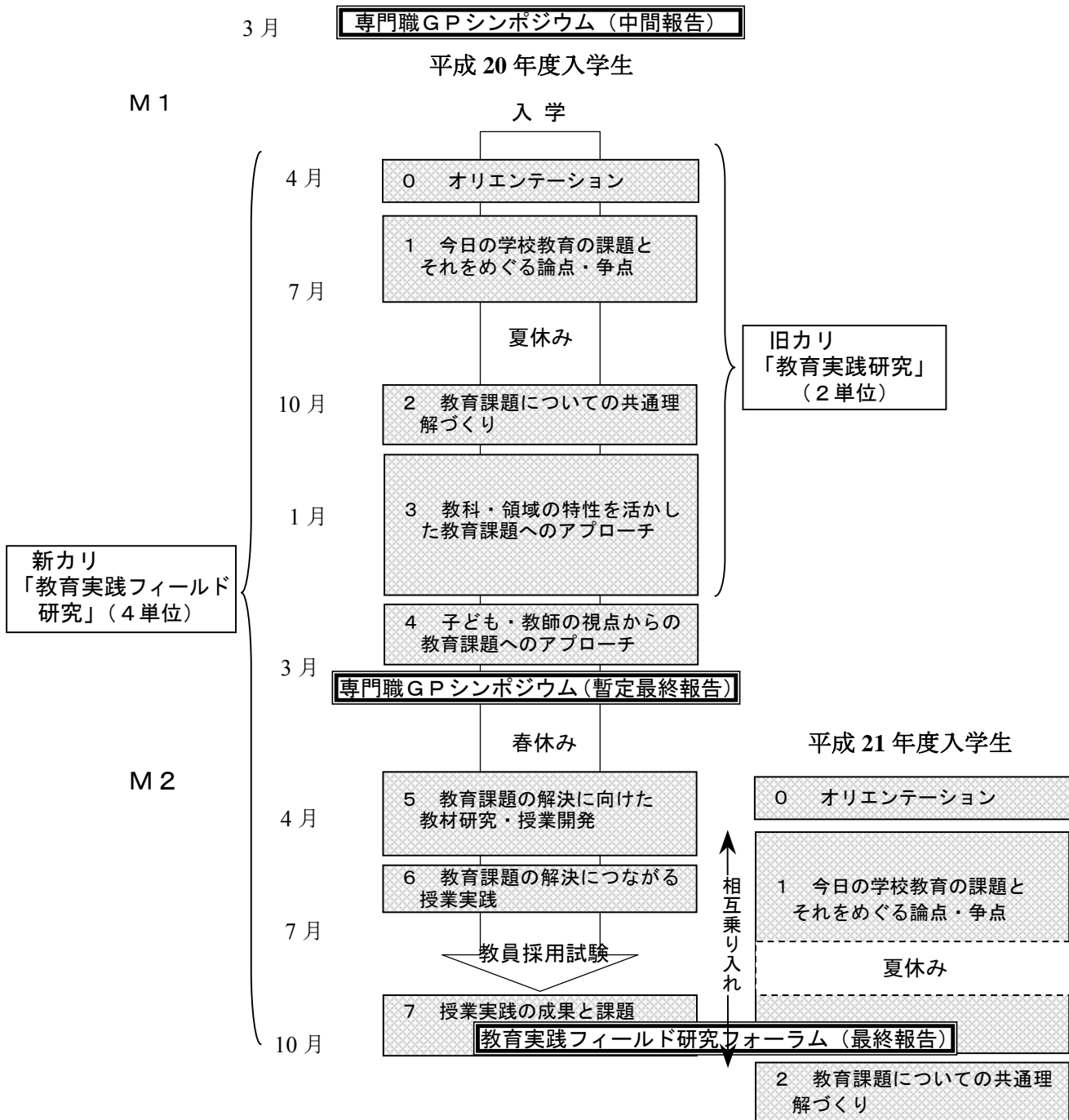
- (1) 協力校での授業実践・反省
- (2) 協力校での授業実践・反省
- (3) 協力校での授業実践・反省

7 授業実践の成果と課題(9月~10月, 3回分)

- (1) 授業実践の振り返り, 成果と課題の確認
- (2) 授業実践の成果発表の準備
- (3) 授業実践の成果発表ー「教育実践フィールド研究」フォーラムー ★

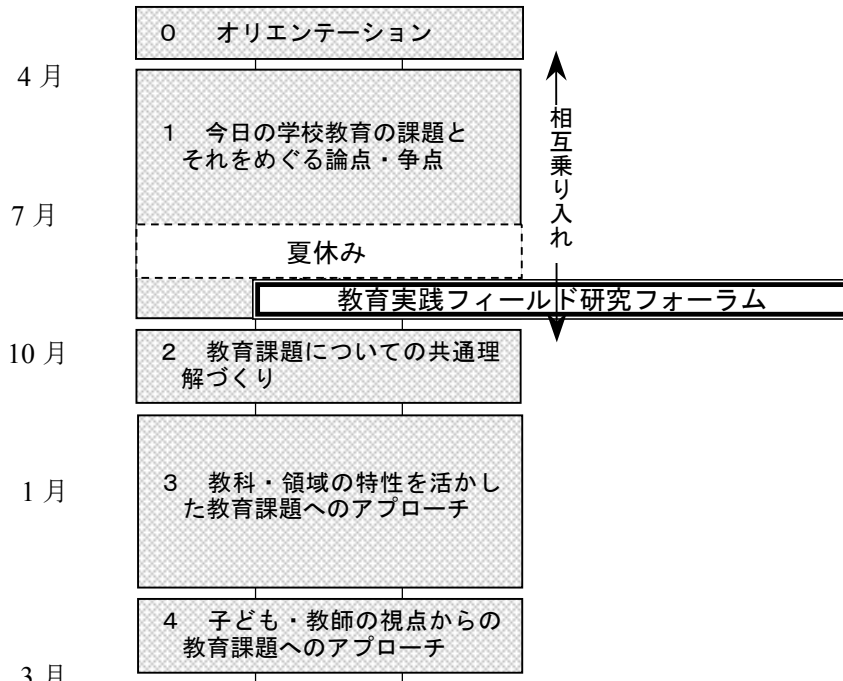
★の回は, M1の院生と合同で実施する

資料4 「教育実践フィールド研究」の実施スケジュール

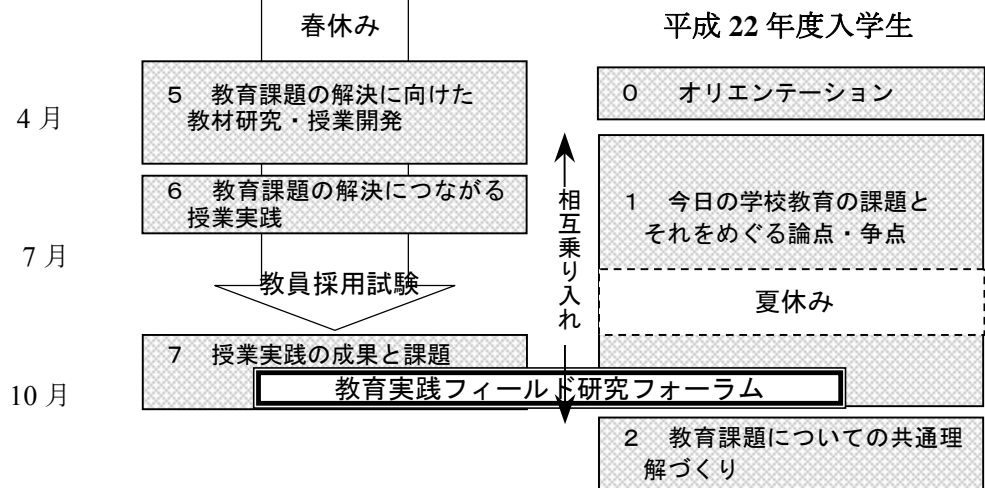


M 1

平成 21 年度入学生
入学



M 2



資料5 「教育実践フィールド研究」の試行プログラム

現行の「教育実践研究」の授業等のなかから、5科目程度、試行プログラムを選定する。試行プログラムに対しては様々な支援を行い、来年度以降の「教育実践フィールド研究」具体化していく上で参考になる知見を得る。具体的には、以下の要件を満たす授業が望ましい。「教育の専門職」養成に向けて、【 】を目標として意識していること。また、下線を目標達成の方法論として取り入れていること。

①【教師の協働力】の育成

多様なキャリアの院生がチームを組んで、教育課題の研究に取り組ませている

②【課題の分析力】の育成

同一の教育課題を複数の視点・論点から分析し、多様な解決策を追求している

③【授業の開発力】の育成

先端の学問/芸術と教育実践を架橋し、教育課題に応える授業・教材を開発している

④【実践の省察力】の育成

大学と現場が連携して授業・教材を実践し、実践の成果・課題を省察させている

試行の目的

本年度の専門職 GP「試行プログラム推進チーム」は、上の4つの観点から、これまでの「教育実践研究」の成果を点検すること、また来年度以降の「教育実践フィールド研究」の可能性や指導法を追求すること、を目的とする。

取組の選定

- 観点①と②に重点を置いて：

A 梅津正美先生を中心とする教科目標・授業構成の研究

「主体的に社会認識を形成する社会科学習の展開と構想」(附属中と連携)

- 観点③と④に重点を置いて：

B 草原を中心とする内容構成・教材開発の研究

「社会認識形成を支援する映像メディア教材の開発と試行」(公立校と連携)

- 観点④と①に重点を置いて：

C 山森直人先生を中心とする内容構成・評価計画の研究

「目標・指導・評価の一体化をはかった英語授業」(附属中と連携)

- 観点③と④に重点を置いて：

D 長島真人先生を中心とする学習指導・教材解釈の研究

「音楽によるコミュニケーションの成立をめざした音楽授業の工夫」(附属小と連携)